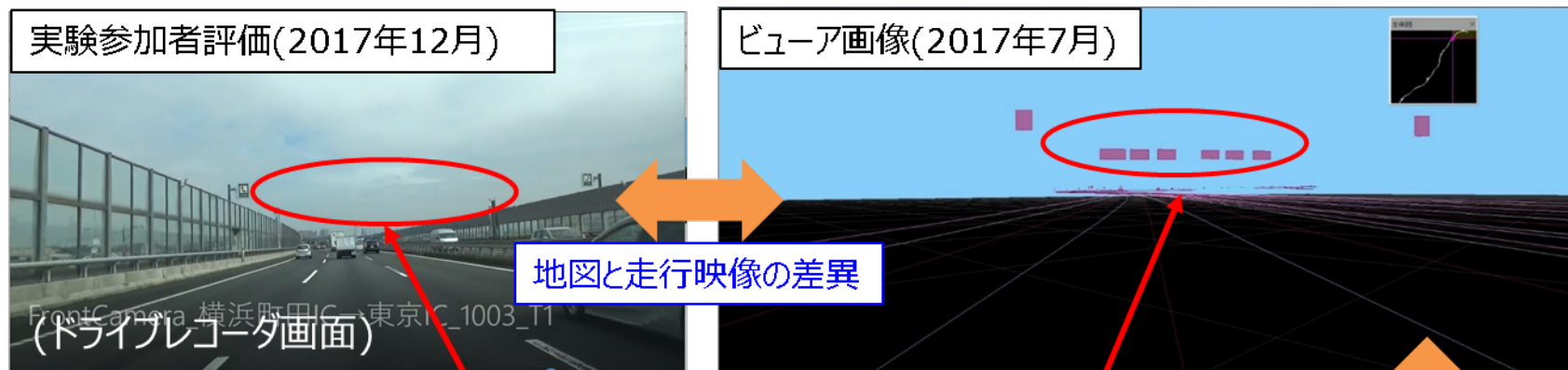


参考4：静的情報の評価結果

地図と走行映像の差異(例)

【取扱注意】
ダイナミックマップ大規模
実証実験コンソーシアム



注：東名高速 横浜町田IC～東京IC 東京ICより5Km付近 存在しない標識がある

出展情報の確認結果

- ・出展情報には当該標識は存在していた
- >> 整備時からの経年変化
- >> 半年で変化あり

ダイナミックマップ製作時(2017年7月)



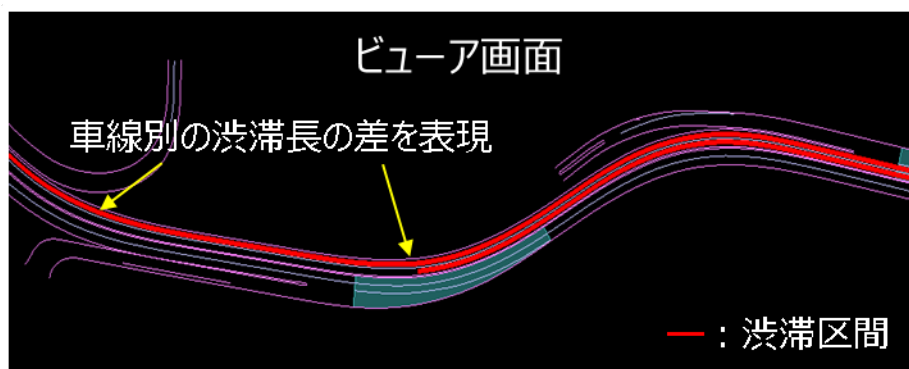
地図情報は作成後数か月で変化・・・地図更新の考え方をとりまとめた【地図更新ガイドライン】を作成

参図4 地図と走行映像の比較評価事例

参考5：準動的情報の評価結果(実験参加者評価中)

【取扱注意】
ダイナミックマップ大規模
実証実験コンソーシアム

- 走行車両からプローブ情報を取得し、車線別の交通流(渋滞)情報を生成
- 車線別交通流情報と静的な高精度3D地図とを重ね合せたビューア画面と走行映像を比較



↓
自動走行システムへの適用可否を評価

芝公園出口



首都高速：谷町JCTから浜崎橋JCT付近

参考6：地図更新ガイドライン

- ・ 地図情報は作成後数か月で変化するため地図の最新化が必要
- ・ 地図情報の最新化に際して、迅速かつ効率的で品質を確保した地図更新データを提供するための考え方と地図データの管理方法をまとめている

[Confidential]

地図更新ガイドライン (骨子) Ver 0.7

2018年11月6日

ダイナミックマップ大規模実証実験
コンソーシアム

目次

1. はじめに	1
2. 地図データ更新に求められる要件	2
2.1 地図データ更新に関するユースケースから求められる要件	2
2.2 通信環境から求められる要件	6
2.3 更新データの配信方法から求められる要件	7
3. 更新の考え方	9
3.1 更新単位・更新データサイズ	10
3.2 データの精度	10
3.3 更新頻度	10
4. 管理データ・更新データの運用ルール	12
4.1 管理データに追加すべき情報	12
4.2 更新データの運用ルール	12
5. 地図更新データの作成に関する留意点など	13
5.1 計測時の留意点	13
5.1.1 計画立案	14
5.1.2 MMS 計測作業	14
5.1.3 後処理および解析	17
5.1.4 位置精度管理（一般道路部分のみ）	17
5.1.5 接合	18
5.2 図化時の留意点	22
5.3 更新データ図化の作業フロー	22
6. 今後の検討課題	29
6.1 本実証実験において対応していないケース	29
6.2 今後の検討課題	29

別添 1 SIP 仕様書における地物
別添 2 SIP ダイナミックマップ大規模実証実験で提供した更新データ作成時の更新方法
別添 3 地図データの配信パターン

1. はじめに

本ガイドラインは、戦略的イノベーション創造プログラム（以下、SIP とする。）自動走行システム ダイナミックマップ大規模実証実験で作成、配布したダイナミックマップ更新データの、データ作成時の作成方針、データ仕様、計画・図化等の留意点をもとに、実証実験参加者からの更新データに関する評価の結果を踏まえ、ダイナミックマップを実運用していく上で望ましい更新単位、更新データサイズ、データ精度、自動運転レベル別の更新の頻度、地図データの計測・図化における留意点等を整理したものである。

本ガイドラインは上記の整理にあたり、第2章において地図更新に求められる要件を明らかにし、第3章において地図更新における望ましい更新単位や更新頻度等の考え方、第4章において更新データの管理データ等に関する考え方、第5章において計測および図化の留意点等を整理した。